

2002年9月26日

**バクスター株式会社**<http://www.baxter.co.jp>

## **バクスター株式会社、心臓血管製品事業を会社分割 エドワーズ ライフサイエンス株式会社に承継**

バクスター株式会社（本社、東京都千代田区、代表取締役社長 星川恭治）は、10月1日付で心臓血管製品事業を分割し、エドワーズ ライフサイエンス株式会社（本社、東京都千代田区、代表取締役 津森喬）に承継します。

米国ではすでに、2000年4月、バクスター インターナショナル社（本社、米国イリノイ州）が心臓血管製品事業を分割し、同事業はエドワーズ ライフサイエンス社（本社、米国カリフォルニア州）として発足しました。日本においては組織を直ちに分割することはせず、現在までバクスター株式会社の「エドワーズ ライフサイエンス事業本部」として営業を続けてきましたが、このほど商法上の会社分割制度（吸収分割）を適用し、エドワーズ ライフサイエンス株式会社に同事業を承継します。

バクスター株式会社は、同事業承継後、米国本社と同じ四つの事業部、透析製品、バイオサイエンス（遺伝子組換えをふくむ血漿たん白製剤およびワクチン）、フェンウォール（輸血療法製品）、 Medikation Delivery（薬剤投与システム製品）となるため、対外的なブランディングと事業戦略推進に統一性がもてるようになります。従業員数は約900名となり、資本金39億3000万円は変わりません。また1990年竣工の宮崎工場では、腹膜透析製品を中心に国内製造も行っています。今後は、現在日本での主力事業である腹膜透析製品や、世界的にも急成長しているバイオサイエンスに加えて、米国本社最大の事業部である Medikation Delivery を日本で再編し、事業拡大を図ります。同事業部ではバクスターが得意とする、医療事故・感染防止や患者のQOL向上に貢献する各種の薬剤投与製品や先進的システムのうち、これまで日本に導入されていない分野の製品でも積極的な進出を計画しています。

承継後のエドワーズ ライフサイエンス株式会社は、資本金11億3200万円、従業員約400名。代表取締役社長にはケイミン ワング（王惠民）が就任し、津森喬は代表取締役会長に就任します。親会社の米国エドワーズ ライフサイエンス社は人工心臓弁や心機能測定用カテーテル製品を中心とする、重症な循環器疾患を治療する医療機器の開発・製造・販売における最大手の一つです。会社分割によって、エドワーズ ライフサイエンスは日本においても独自の活動と積極的な投資が可能になります。日本では米国本社から製品の供給を受ける一方、一部製品の国内製造を行なっているほか、国内で唯一、人工心臓システム（ワールドハート社：カナダ）の輸入許可も取得しており今後の展開を計画しています。

\* \* \*

